

110th
Memorial

N I K A

Painting Sculpture

会 員

painting

絵 画



Reverberation F300
山中宣明



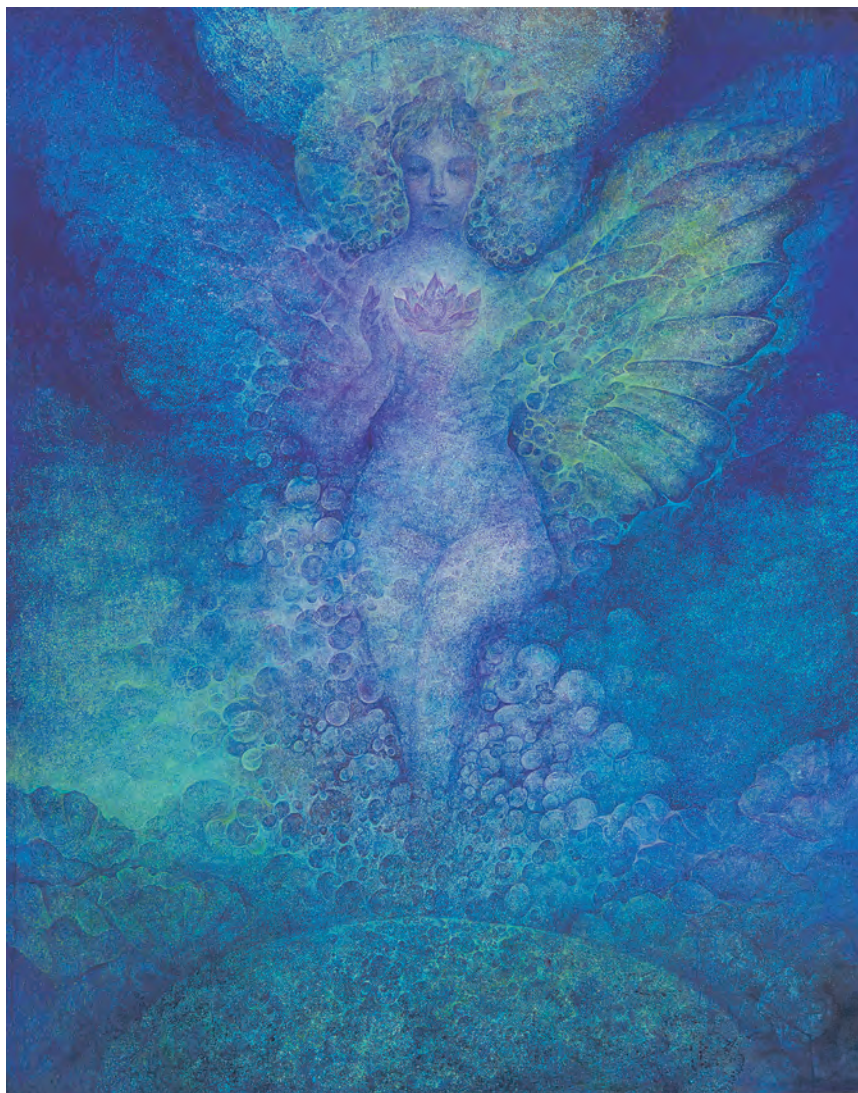
あのフォルムの向こう側 F200
塙 珠世



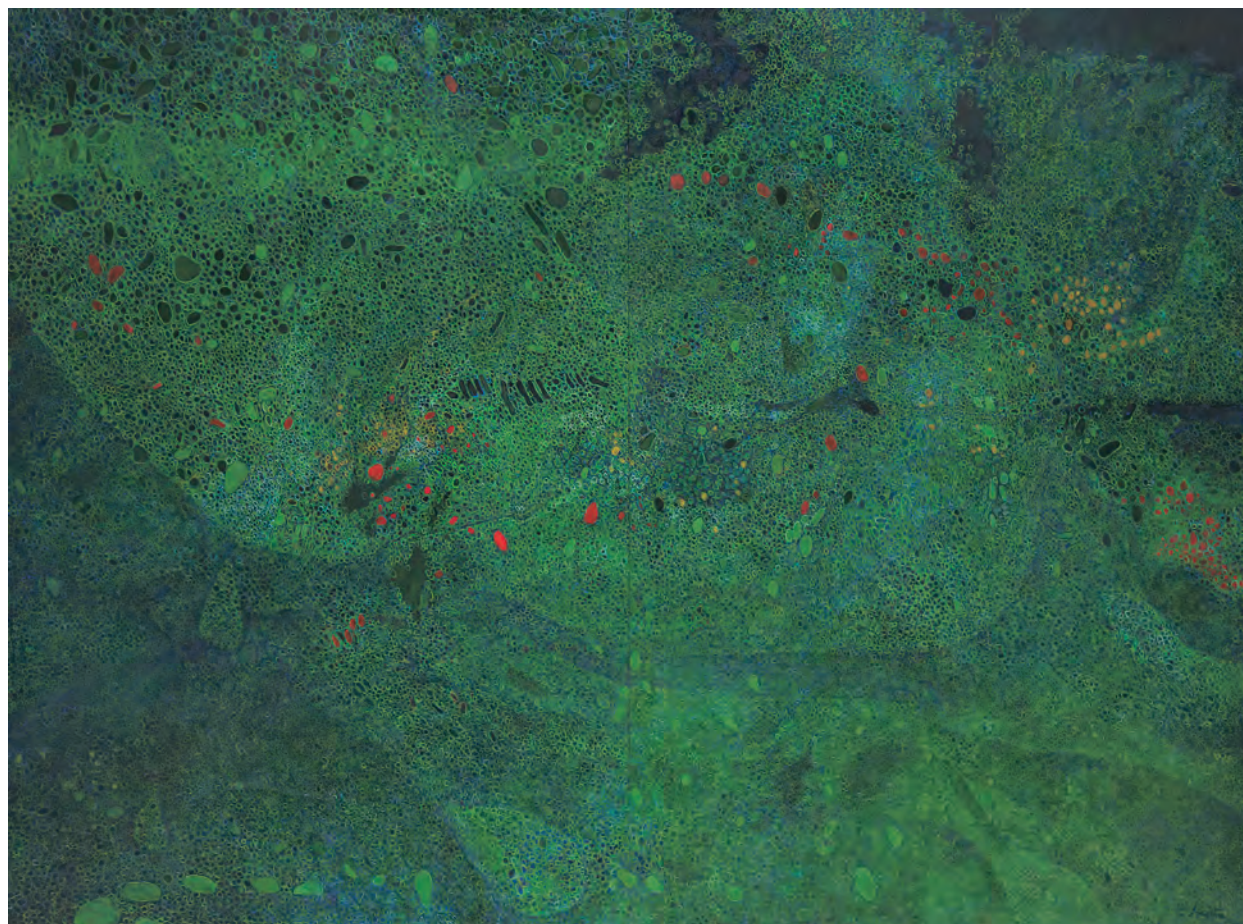
金になれなかった金の卵 260.6×172 田浦哲也



アトリエ ブギウギ M200 粕谷正一



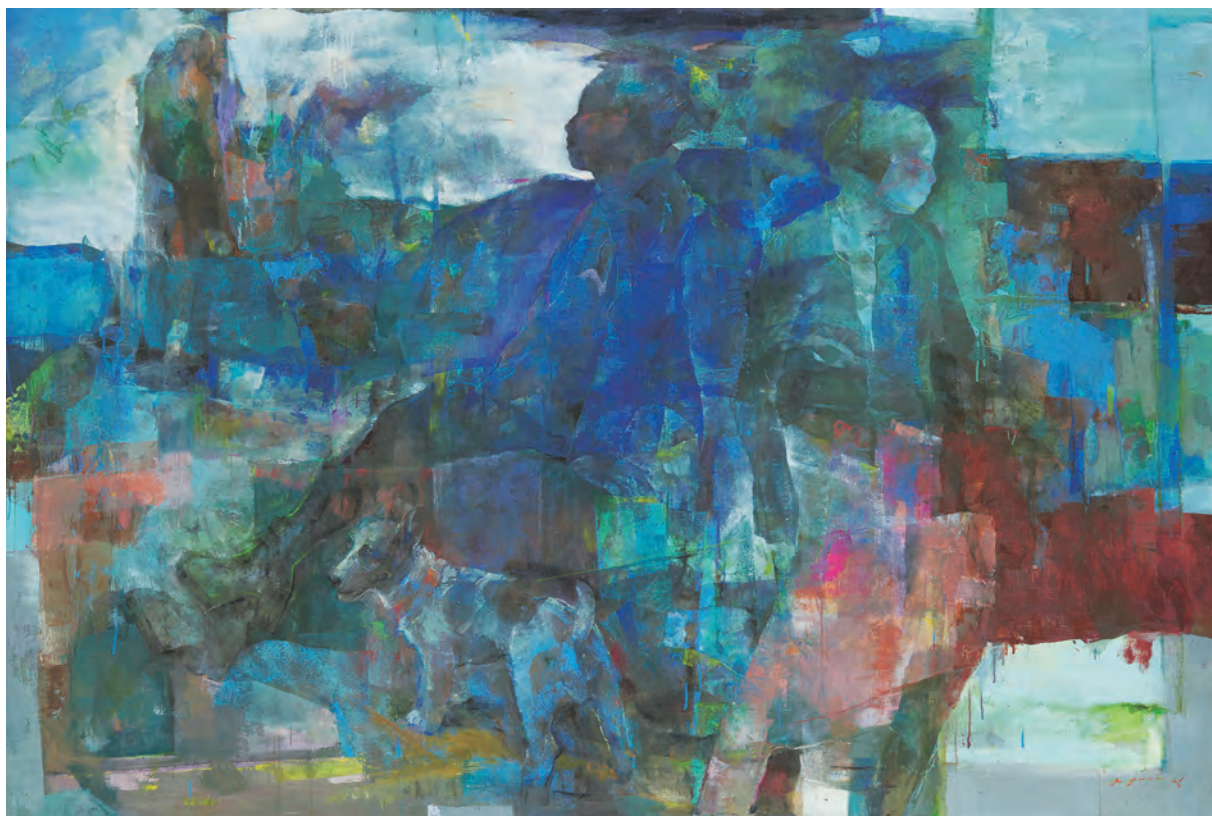
祈りの翼 F150 加覧裕子



森羅 194×260 岩田 博



使者 F200 濱田 進



不確実な散歩 F120 野村みそら



時空2026 194×324 祝迫正豊



Da Vinci's Village's Toy box 160×250 横前秀幸



NAGA VASTU 〈龍の棲家〉 242×250 田川絵理



シン・スペース 324×130 森岡謙二



羽化する人 F150 五味祥子



夢 F150 寺田 眞



悠久へのプロローグ2026 163×326 深見まさ子



残影 162×260 米田整弘



猫じゃらし F130
渡辺倭文子



サーカス F100
石附 進



ある日 S100
吉井英二



望郷 F100
香川 猛



彩、ありふれた日87-5 F150 中原史雄



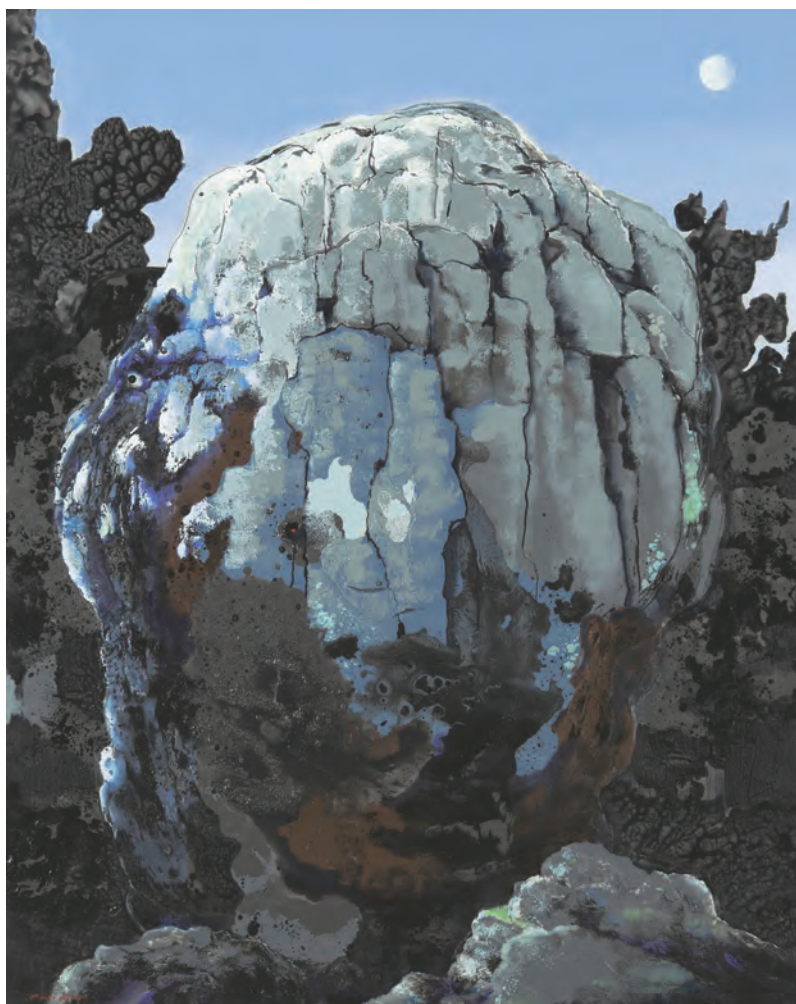
黙想 194×260 生方純一



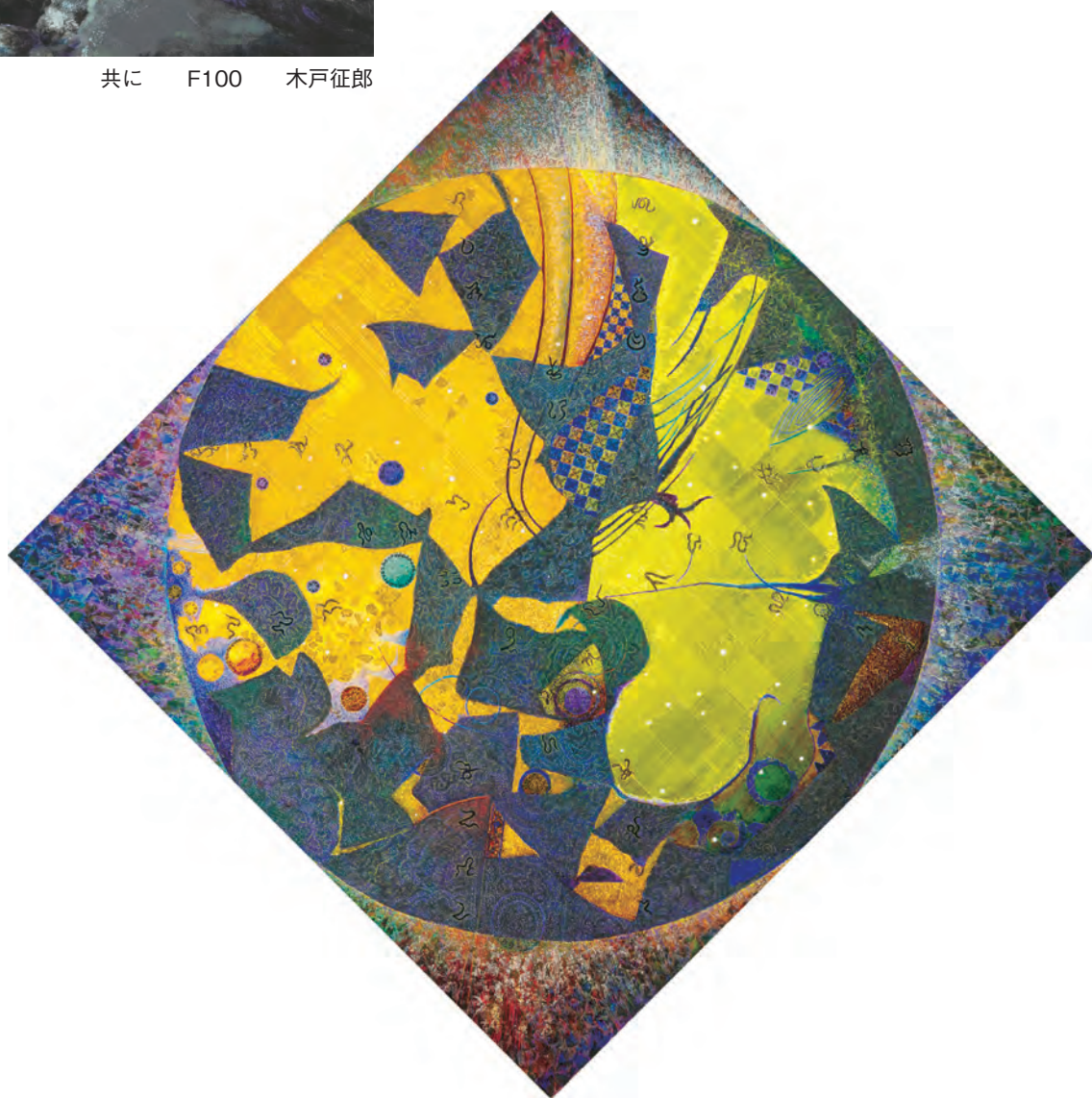
浜の娘 F130 西 健吉



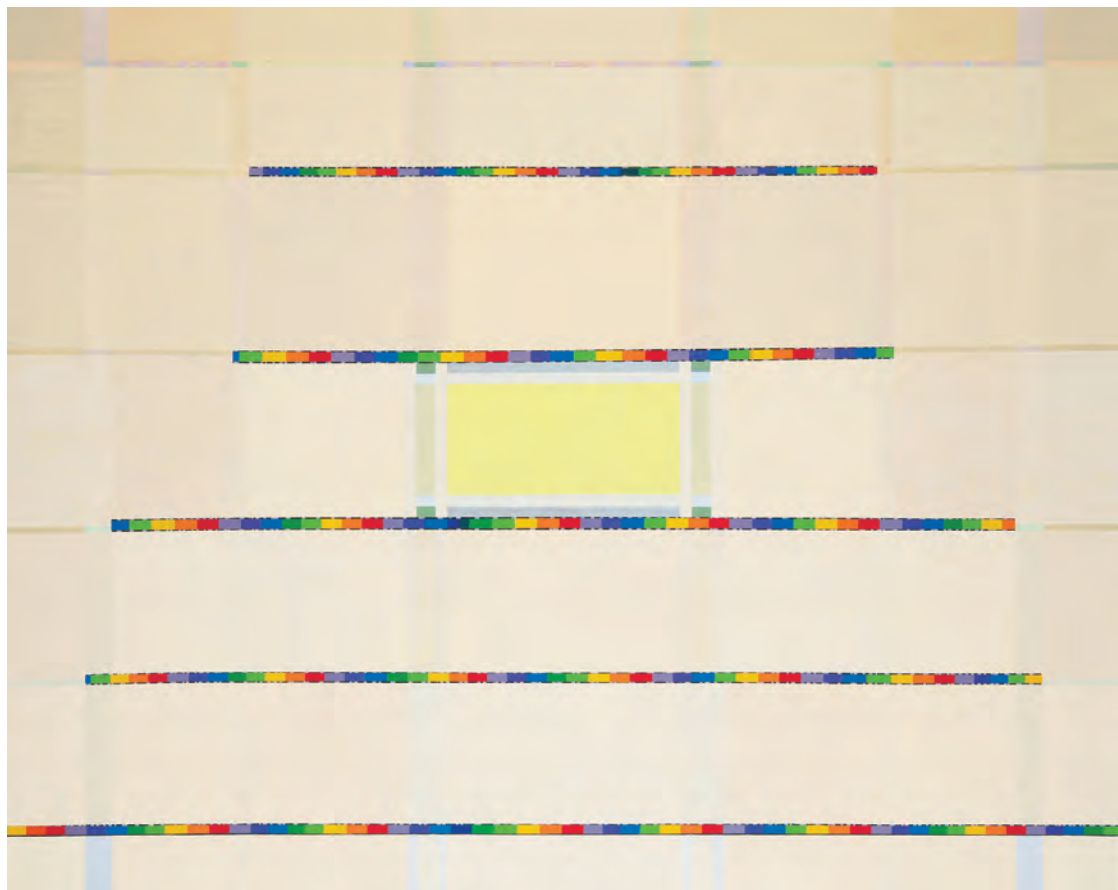
ある風景の痕跡'26-6 F130 黒川彰夫



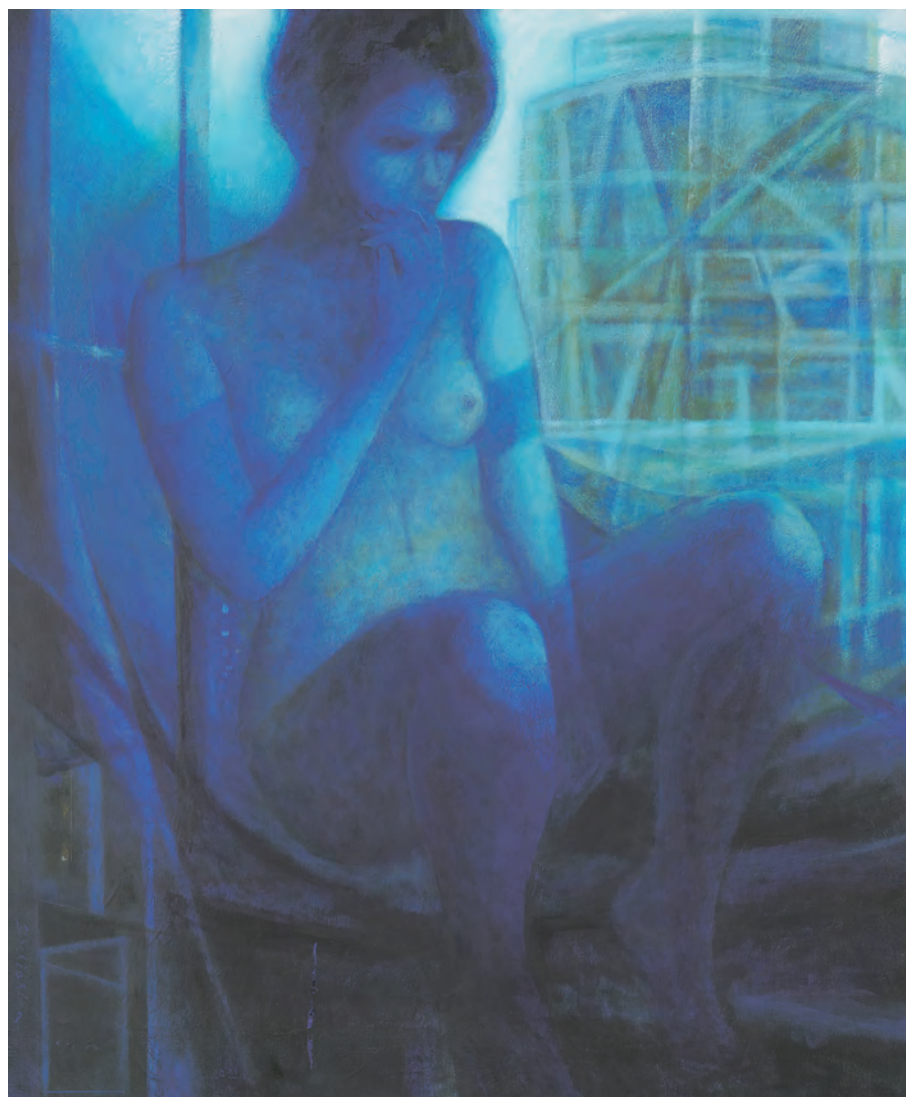
共に F100 木戸征郎



未来からの贈りもの 259×259 尾崎 功



天と空 F150 瀧澤賢福



街 F130 鶴岡義詮



おもい F130 山岸光代



夜は静かに 180×180 武藤挺一



平和を祈るイコンの方舟 320×260 堀尾一郎



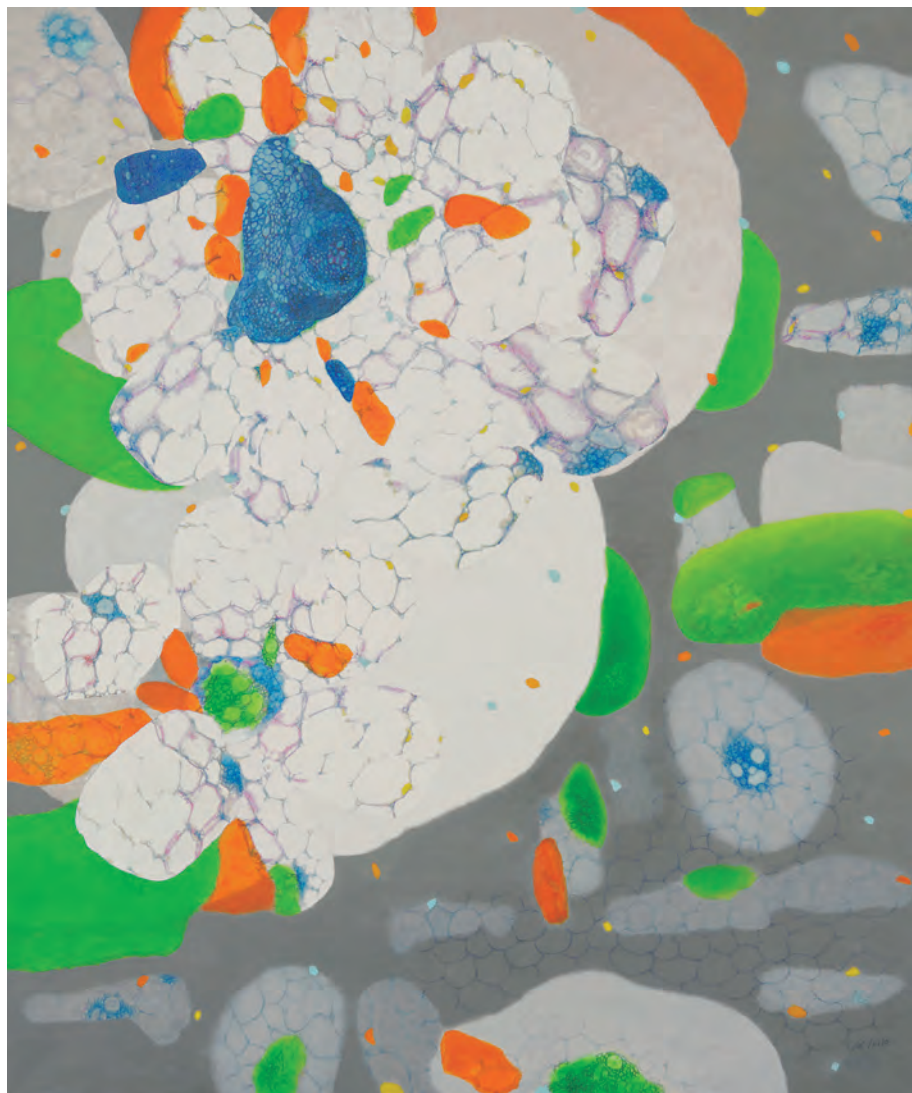
Le Vent 風 芽吹く F100 須藤愛子



置湮 F100 沼 末男



無辜の民 F100 井田健一



再生'26 F130 入佐美南子



俯瞰の青 162×260 皆川恵子



テオリア F130 鎌田道夫



Duet (熱海にて) 163×293 浅賀昌子



自我 324×194 尾崎ゆき子



記憶の中の形 F100 白井紘子



刻音 (高層空間) F130 本間千恵子



ノスタルジア F130 木脇秀子



時の庭 F120 大淵万弥子



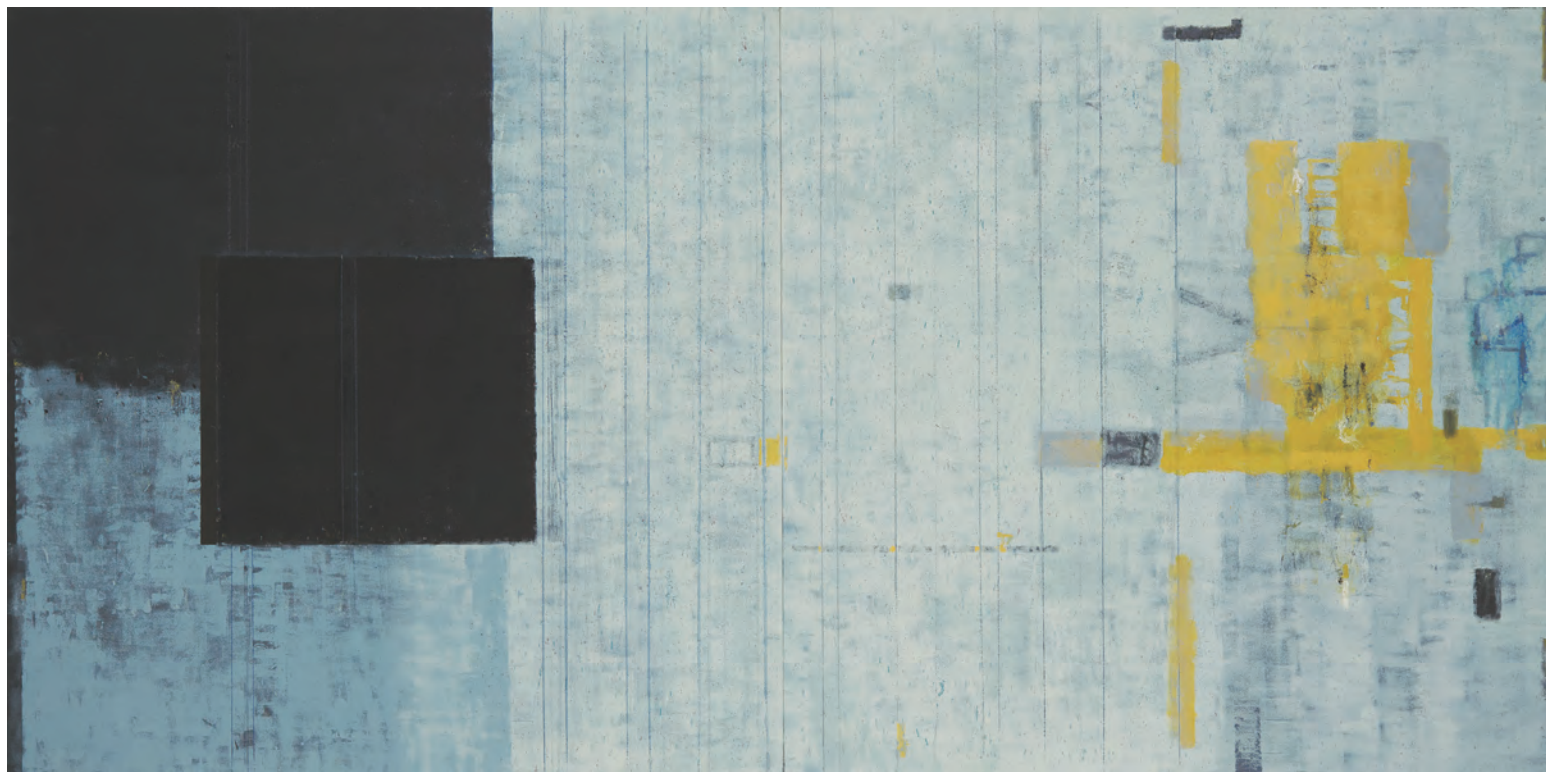
洗濯 F150 益子佳苗



魚たち F100 井上由美子



Hyperrealistic & 130.3×260.6 井上裕義



INNER SPACE 160×320 金澤英亮



静物・線的な S100 今村幸子



大地の鼓動 F200 甲津久生



海辺の風景 F130 井上邦男



時のまなざし F200 柳田邦男



風奏 F150 上野和子



星空 191×107 米田安希



影と遊ぶ F200 小出和枝



想起 196×261 関口成夫



安息 F130 大桑和子



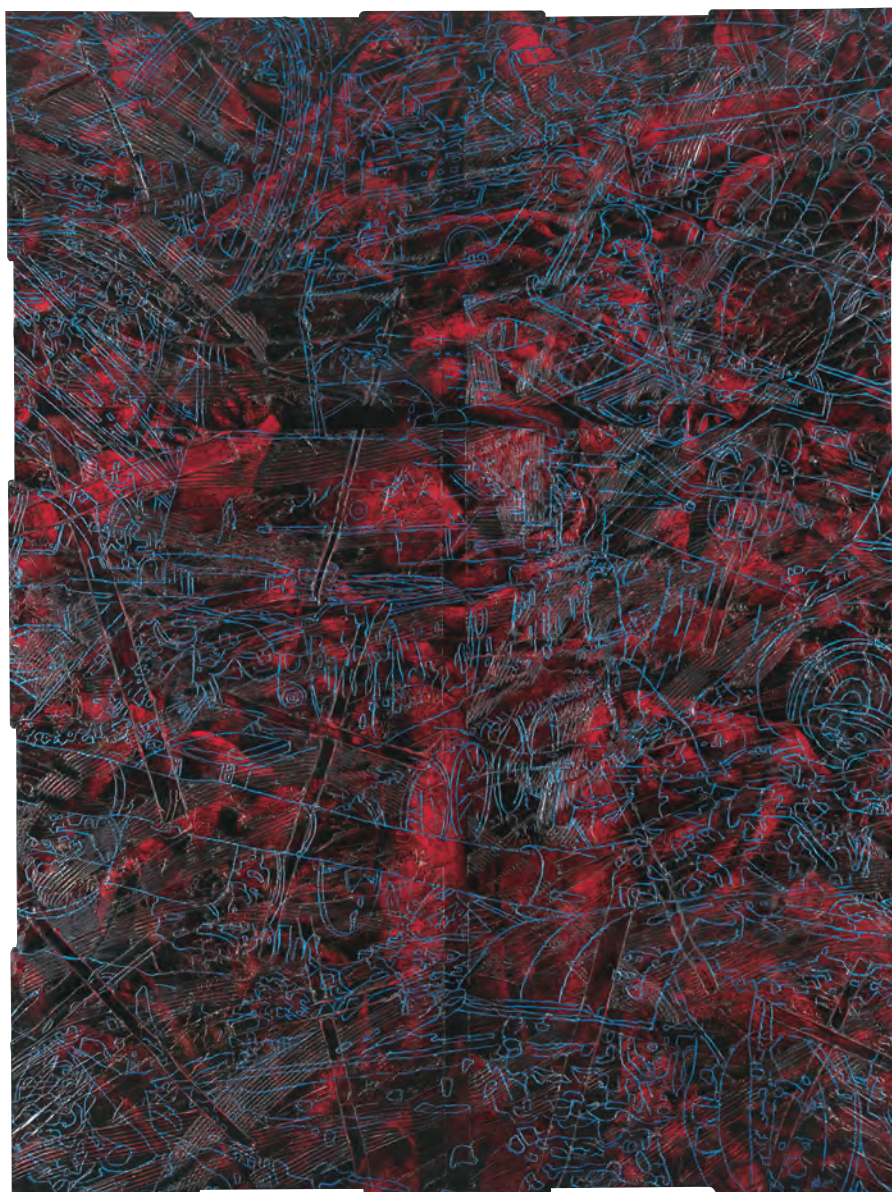
記憶のカケラ S100 大脇春美



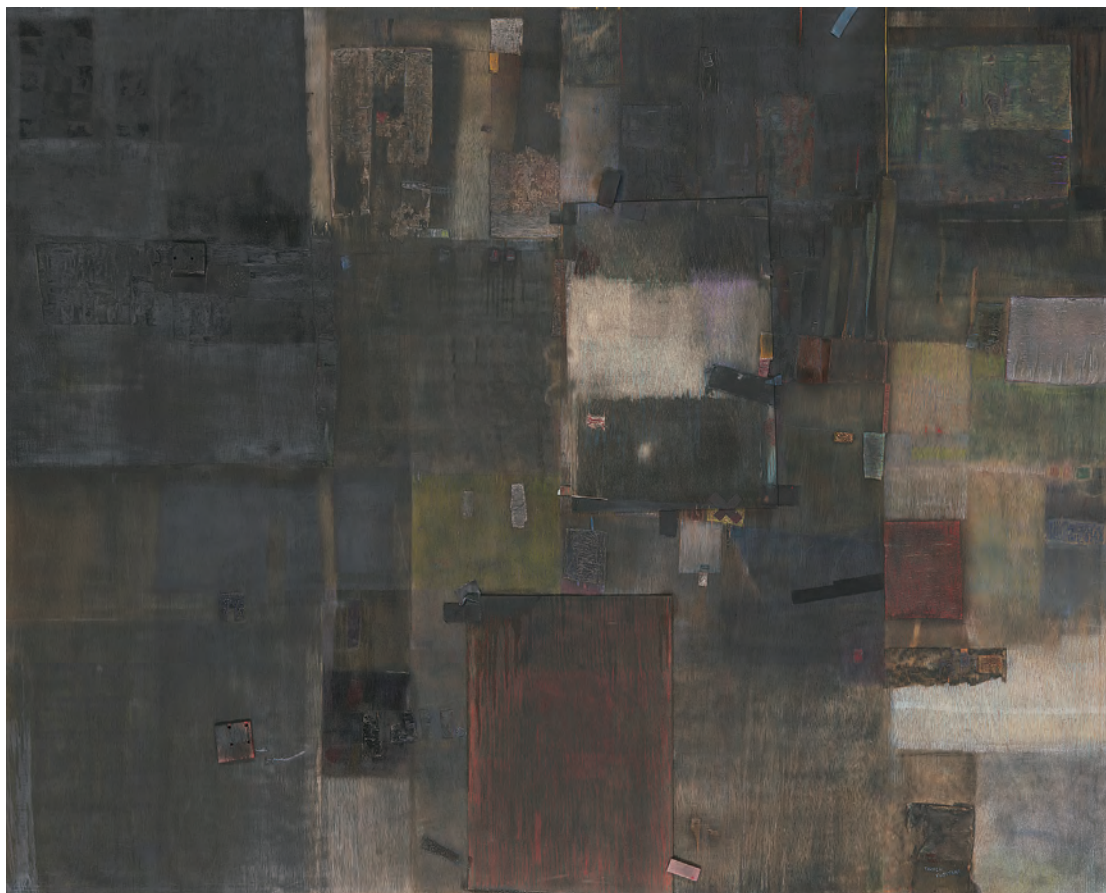
Flower 26-02 F150 古保木雄一



風のオフィス 162×260 寺崎陽子



事態模型 F300 山岸 睦



宵待 F100 富士谷 隆



声が聴こえる F200 石関和夫



地の記憶26-2 F130 上村育子



舞う 182×182 吉田清光



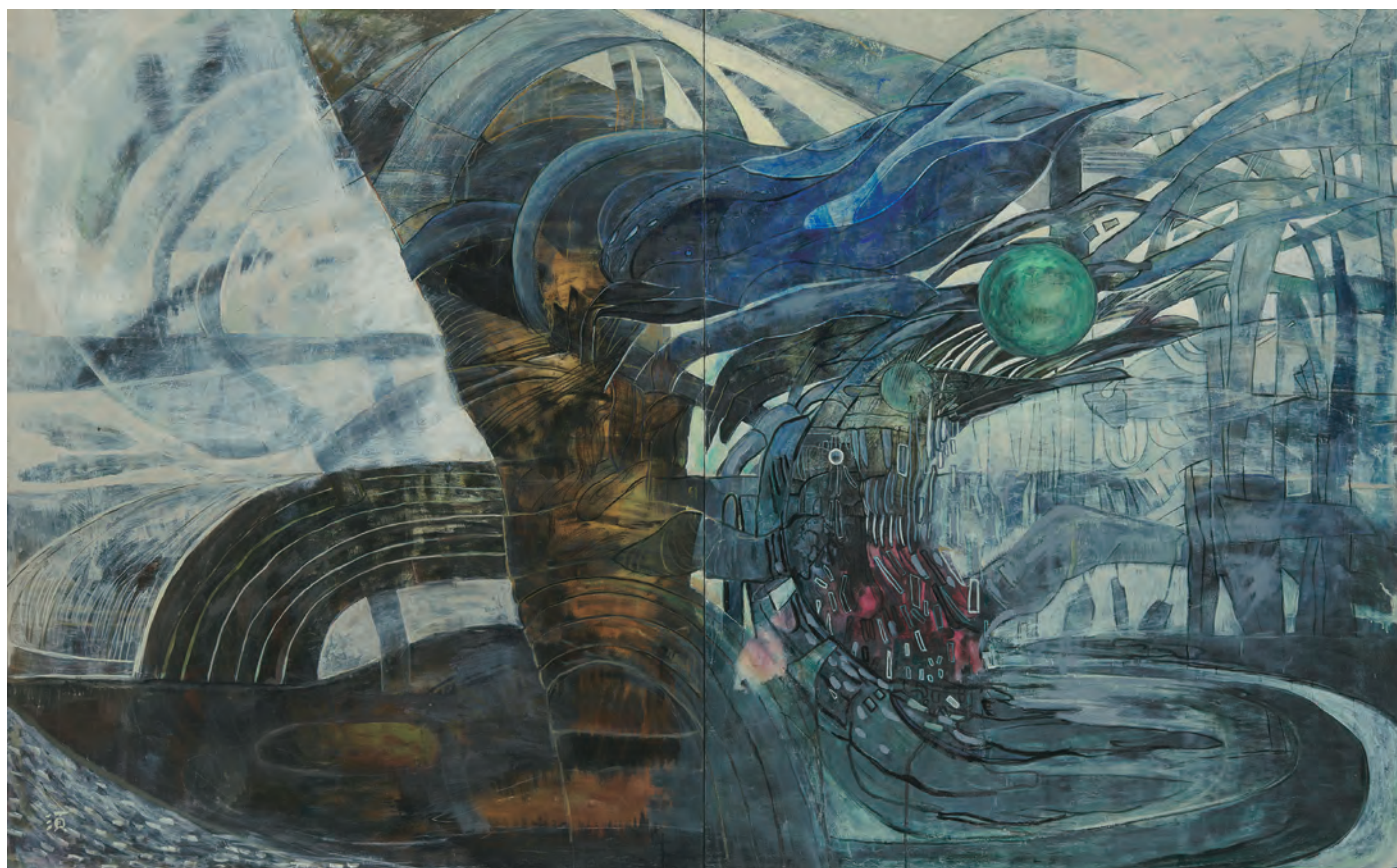
失意からの大輪 164×264 上原さつき



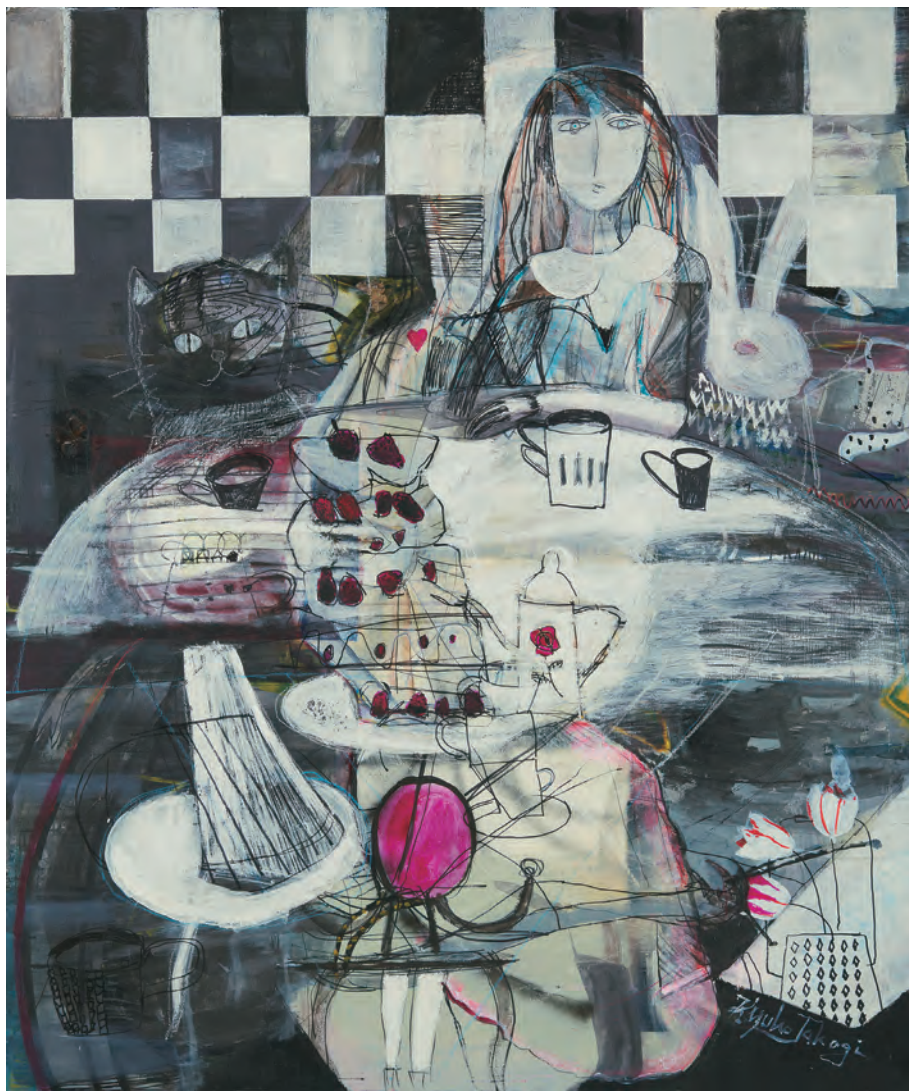
追憶の風 F120 加藤ひとみ



夢の隙間に F150 佐々木里華



一陽来復—2026 162×260.6 須田美紀子



アリスのお茶会 F130 高木和子



manière gravure / 版画の手法 181×273 谷口貞久



建造物群 (2026) F130 田村一男



暁の鳳凰三山 雪解を待つ F130 矢野兼三



考察 F200 茶谷弥宏



雲のまにまに 194×260 辻 富佐美



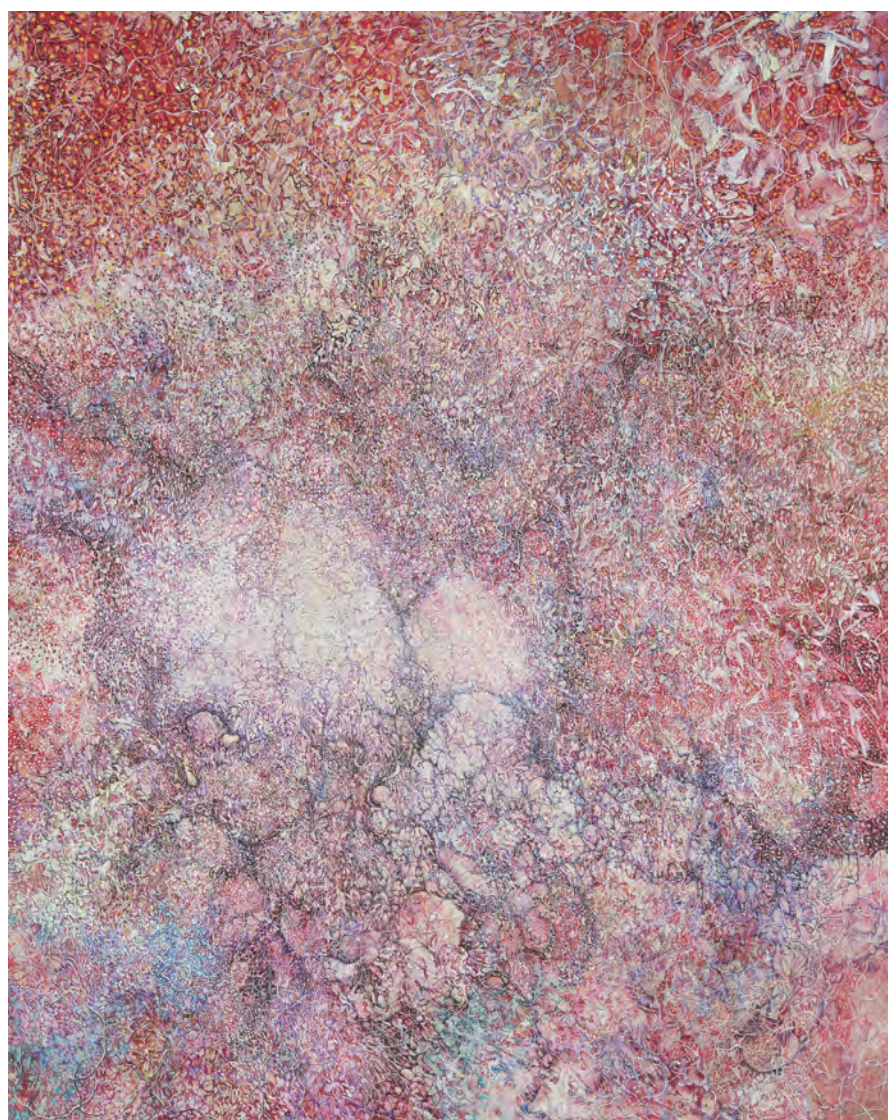
Pierrot (道化) F130 有泉 學



南瓜 160×182 北村美佳



MEDITATION '26 194×324 及川英之



心の星座を描く F150 石橋国夫



蜃気楼 F130 鈴木章司



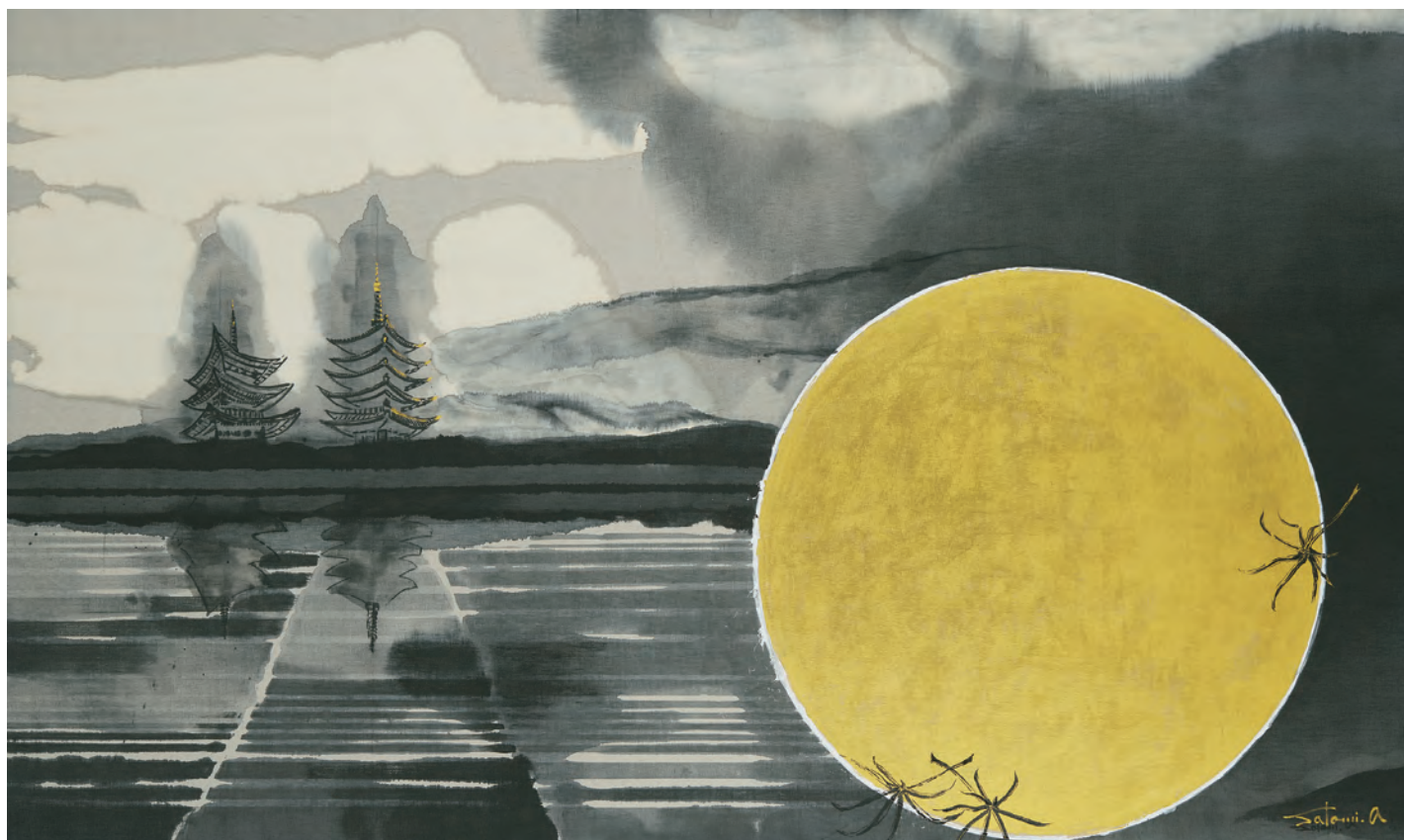
ORACLE P150 高畑 彰



街の記憶2026 S50 高松良幸



プレリュード F130 ナカムラ 延



刻・月光 194×324 明石里美



ジャズが聞こえる F100 小林豊弘



湖郷 F130 石田勝己



もう一つの世界へ—2026— 194×260.6 伊藤よし子



ジョカの森 F130 錦木真葉



変貌する町 F130 野口睦幸



時感26-IV F130 餅原宣久



記憶の旋律 F130 山崎美恵子



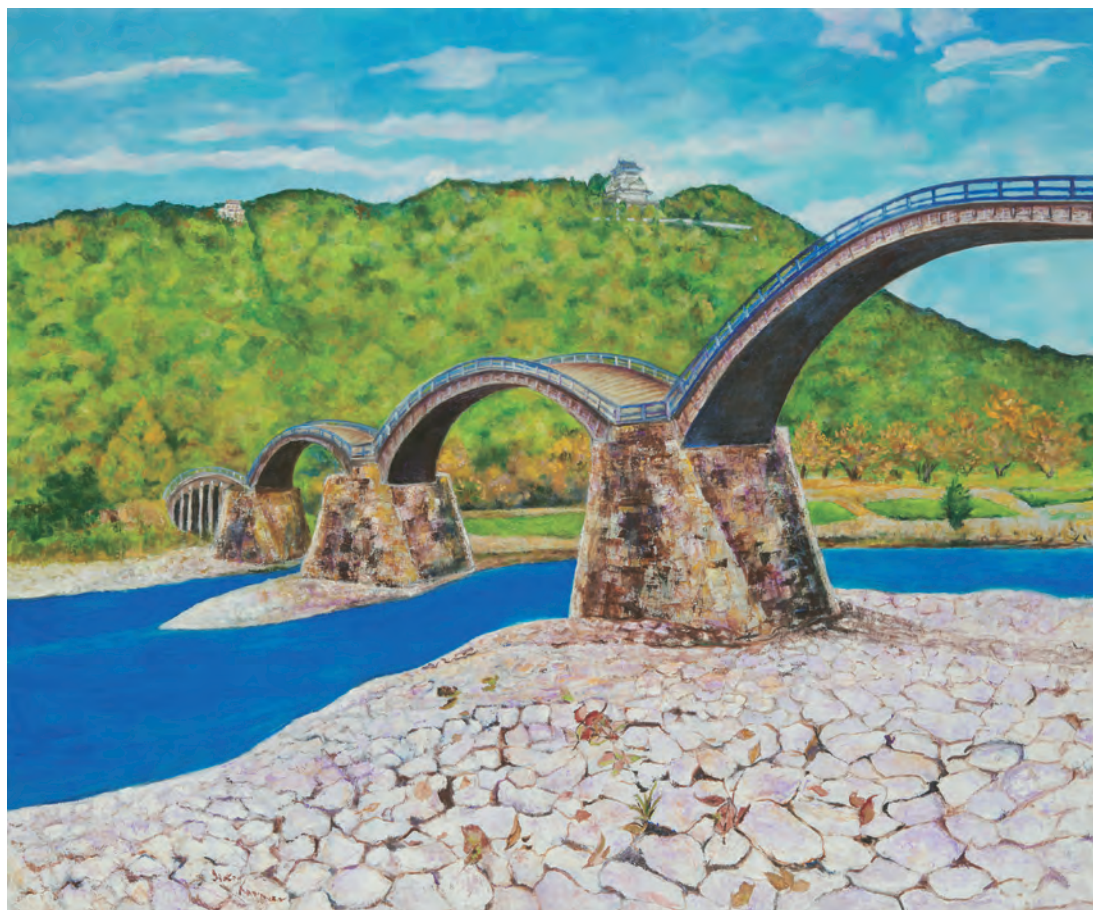
季の風景 F130 山中惇孝



夏をよぶ鳥 S100 飯田由美子



0 (戦争はイヤダ) 145.5×224 大久保リツ子



Eternal F130 上村伊佐子



風の予兆 162×260 木村利加子



Samarqand S100 瀬野道子



造船所の在る風景 F130 高山章亮



Driving S100 根木 悟



海峡の夢 F200 長谷川昭三



回想 F130 山下 宏



最果てに祈る F130 村上雅洋



カプセルの中の新世界 F130 大岩万里子



on the terrace 400×162 大島麻琴



人・かたち F130 酒井とし子



2026年の秋 F100 小田島えい子



流動 F100 熊田奈穂子



心の残響—生命 162×260 嶋田みどり



思梓 F130 中 静江



失っていった礎 162×260 徳永スエ子



この道は、ボクの道なのか F150 野平智広



OTOWA POND F150 山岡明日香



風の記憶 F150 石本香織



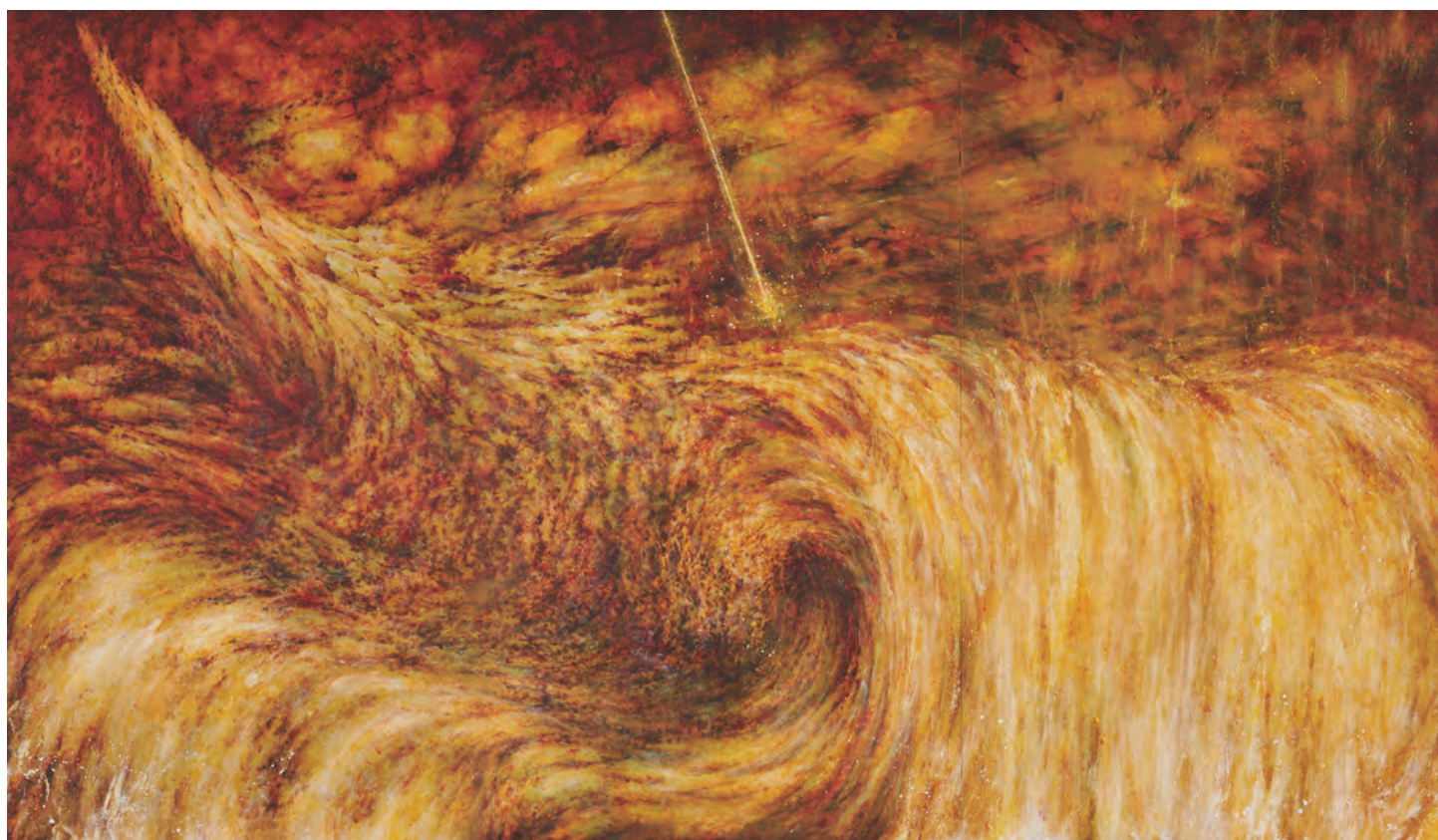
hidden S130 山下かじん



月の循環バス 162×260 稲生由美子



羅漢 259×194 佐藤英行



色は匂へど(蘇) 199×341 村山成夫



マイアイテム F130 高見 愛



クリニカルフィニッシュ 194×292.3 山口博司



繰り返す記憶 162×260 吉金幸枝



朝暉を纏う 162×260 上石直美



理想郷への旅(追いかけて) M500 有馬広文



抱く F130 石川由巳子



生きる (百歳、百歳) S100 小野由紀子



沈黙の風 F130 三宅敦子



画室2026715 F130 田中良子



26-2 ビリーブ 162×262 田中節子



邂逅 F130 稲増克彦



人形 F130 片岡佐智子



ゴルゴダへの道 F80 今村恵利子



巡礼の道(早春) 160×260 蒲田 宏



まぼろしの樹 162×356 合田紘露胡



かしまし急行 185×260 津田佐千子



蒼天 162×260 縄井かつみ



時の港一響 F120 平林直哉



清涼の記憶 182×146
後藤寿美子



海の夢 F200
筒井通子



記憶のはざま F130
芝田満江



珊瑚の化身(産卵バンドル) 380×260
鶴田英輝



ストレンジャー F130 富秋和子



貴女は誰? 194×325 中野紀三朗



命の誕生 165×268 宮本恵美子



初夏の日々 M200 邑井吉治



Among Trees F120 柳澤綾子



2026 画室・宮崎讃歌 F130 高橋和平



清明 F130
木村民治



Reflectors F130
小原禎二



BABEL F130 坊中静六



あけっぱなし F130 水元美穂子



私が天使になる理由 F130 内木孝志



Metoro 26-po P150 大槻 薫



忘れられた時'26 F130 加藤弘子



迫間—ながめせしに F100 武部美智子



界 F130
鈴木真木子



26時 S100
田中正子



In the ice F130 坪田裕香



Fluctuation (変動) 162×264 中村ふく子



帰り道 224×145.5 中澤純代



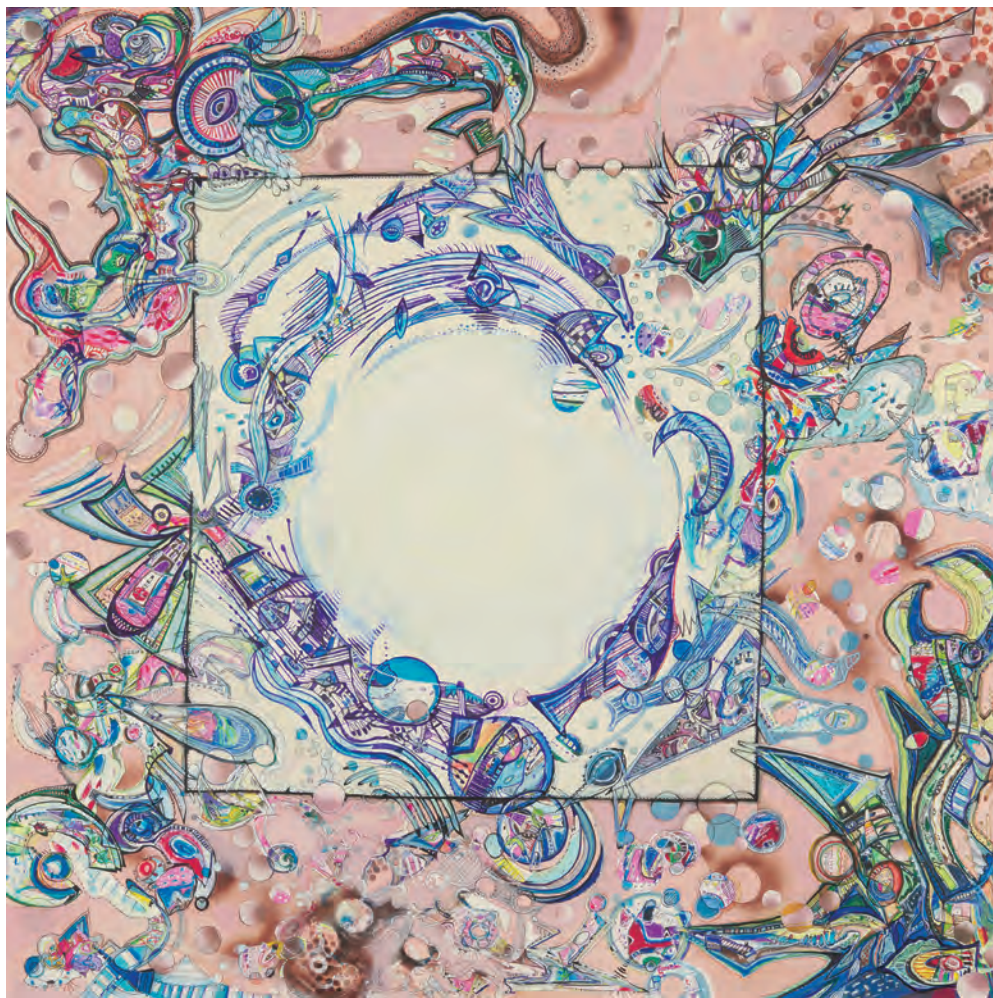
ネハNZ 162×260.6 福島菜葉



I Love You 2026・F 162×324.3 渡邊仁美



晨(あした) 144×288 猪立山三鈴



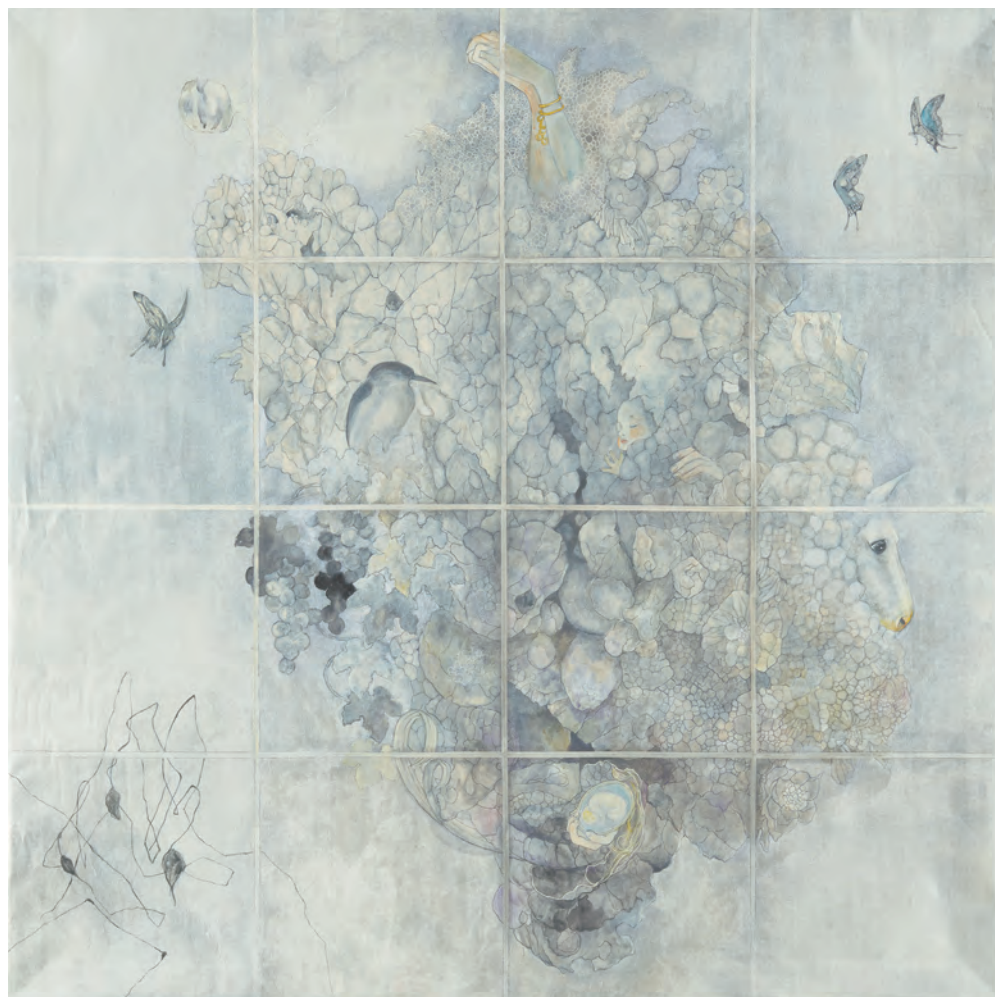
線の解放 S100 黒川壽子



Wonderland 162×260.6 笹島裕美



無所不至〈風韻〉 186.2×162
さとうのりこ



STILL LIFE~SILVER S100
森山麗子



パリのマロニエ F130 日比野恵美



遺作 アレグリアス F100 鬼頭恭子



遺作 追憶 F50 楳岡和子

二科会趣旨

二科会は永い歴史が語るように、発足以来、各部門が一貫した伝統精神として、時代を認識する徹底性において、視野を一方向に限定せず、新しい表現価値の創造に向かって不断の追究を期することが信条である。よって全会員の制作上の自由を擁護し、個性を尊重する。流派の如何を問わず新しい価値の創造者は拔擢され待遇されるであろう。

かくて、二科会を美の温床としようとする努力は不変の鉄則であり、我々の理念である。

二科会について

1889年(明治22年)に日本最初の洋風美術団体「明治美術会」が創立され、7年後の1896年(明治29年)に東京美術学校に洋画科が設置されたのが、わが国洋画壇の黎明期であり、この頃フランスに留学していた新進の芸術家が帰朝するに従って、文部省展覧会の審査に新・旧の価値観の違いが目立ってきました。そこで、新・旧を一科と二科に分離するように政府に要求しましたが、時期尚早なりと却下されました。

そのため1914年(大正3年)文展(文部省美術展)の洋画部に対して新進作家たちが新しい美術の確立を標榜して、在野の美術団体「二科会」を結成し「流派の如何にかかわらず、新しい価値を尊重し、創造者の制作上の自由を擁護し、拔擢する」という趣旨のもとに1世紀におよぶ歩みを踏み出しました。この間、二科会は常に時代の新傾向を吸収し、黎明期から多くの著名な芸術家を輩出してきました。

現在、絵画・彫刻・デザイン・写真の4部で二科美術展覧会を開催しておりますが、絵画部、彫刻部は民主的運営を目指し1979年(昭和54年)に法人化し、社団法人二科会として発足、さらに2012年(平成24年)には絵画部・彫刻部は公益社団法人二科会としての認定を受け、デザイン部・写真部も法人化の道をたどりしました。

2007年(平成19年)からは本展会場を上野の東京都美術館から六本木の国立新美術館に移し、4部門での秋の二科展として親しまれる二科美術展覧会を開催し、会員の研鑽を重ねた熟成度の高い大作を発表する場としつつ、全国から広く作品を公募し会員の鑑審査により入選した力作を展示し芸術振興に努めています。また被災地への義援活動やウクライナの子供たちの作品を特別展示するなど、芸術を通して広く社会へ貢献すべく活動しています。

二科展は、東京展に続き、各主要都市での巡回展を実施しています。

さらに、春には、上野の東京都美術館において、会員の実験的作品の発表と新進作家の育成を目指した春季展を開催し、2024年(令和6年)より特別企画として会友・一般からも自由に応募出来る「NIKA+nika/S20号」コンクールも同時開催し、より広い表現の可能性を探っています。

令和8年 —2026年—

公益社団法人 二科会